

静岡県熱海市における
令和3年7月1日からの大雨に係る災害派遣について

概要

- 7月3日（土）午前、静岡県熱海市内の住宅地域で土石流が発生。同日1230、静岡県知事からの災害派遣要請を受理。
- 7月21日（水）現在、自衛隊は、約780名の態勢をもって、被災現場に約340名、重機17両を投入し、警察・消防と連携して人命救助活動等を実施。

活動実績

人命救助活動等【7月3日～20日】

- 被災現場における活動人員等：延べ約7,060名
- 活動部隊：陸上自衛隊第34普通科連隊(板妻)、第32普通科連隊（大宮）、第1施設大隊(朝霞)、第1戦車大隊(駒門)、航空自衛隊中部航空警戒管制団（入間）等
- 使用装備：重機16両、ヘリ（UH-1）2機、全天候型ドローン7機(最大時)、災害救助犬5頭（最大時）等
- 救助実績：15名（うち11名について警察により死亡を確認）
- 道路啓開：国道135号線及び活動地域付近の道路上に堆積した土砂等を除去し、計約1,020mを啓開

本日（21日）の活動

引き続き、以下の活動等を実施

- 1 人命救助活動**
 - 0600以降、陸上自衛隊第34普通科連隊（板妻）、第32普通科連隊（大宮）、第1施設大隊（朝霞）等の人員約330名により、重機17両（掩体掘削機×2、油圧ショベル×2、バケットローダ×1、小型ドーザ×10、グラップル×2）を用いた人命救助活動等を実施。
- 2 連絡員の派遣**

静岡県庁に2名、熱海市役所に2名、伊豆山現地本部に3名の連絡員を派遣。

活動状況（熱海市）



搜索活動(第32普通科連隊)



搜索活動(第34普通科連隊)



土砂等の除去(第34普通科連隊)



道路整備(第1施設大隊)